



# 重文指定の 灯台どうだい?

不動まゆう

つのしま  
角島灯台  
(山口県下関市)

④

御影石の風合いと氣品

ある姿に魅了される。日

本の灯台の父R・H・ブラン

ントンが手掛けた最高傑

作とも評される灯台だ。

初点の明治9(1877)年から光を放つ第1等8面レンズも現役。こ

のレンズ、実は興味深い歴史資料である。1874年のイギリス製と言

われているのだが、通常メーカー名が記される銘

板に土木技師としてD・

・STEVENSONが刻印され

ているのだ。Dはデービ

ッド、Tはトマスのイニシャルで、スティーブンソン兄弟の名前だとわ

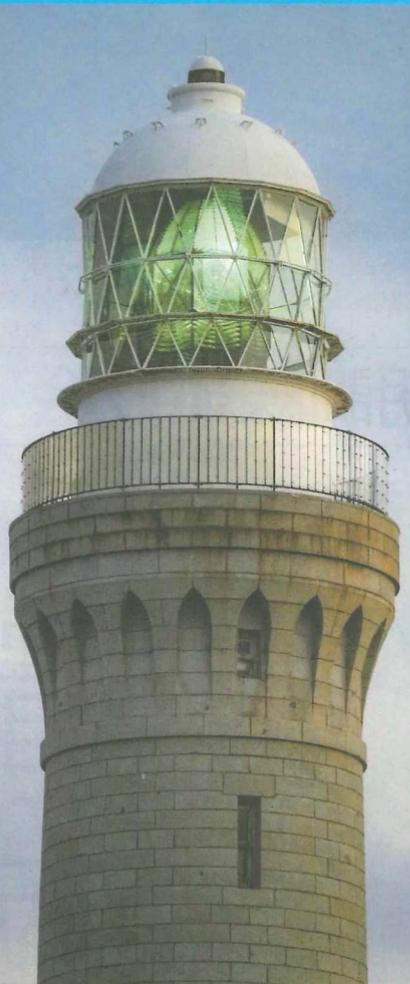
かる。スティーブンソンは父の代から続くスコットランドで名高い灯台技

師一家であり、プラント

刻印から歴史に思いを馳せる



## 欧洲の技術集めた歴史的レンズ



ンに灯台建築技術を伝授した師でもある。灯台用のレンズはフランスのオーギュスタン・

フレネルが1823年に

ソーンがさらなる改良、

開発を行った。銘板に

HOLOPHOTALの文字があるが、これは全光反射の意

味で、プリズムで光を損

なわざ集めるタイプのレ

ンズを意味していると理

解している。

さうにこのレンズを製造したメーカーなのだ

が、2社が関わったよう

だ。骨子(レンズの枠組

せたのかもしれない。当

造したメーカーなのだが、2社が関わったよう

メークー2社が力を合わ

せたのかもしれない。当

時に思いを馳せることの

トランクで名高い灯台技

師一人であり、プラント

は上部、中部、下部

である。(つづく)

部でそれぞれパネルが組み合わさっており、上・

中帶部にはBARBIER、そ

して下帶部の4面のみにSAUTTERの刻印があっ

た。どちらもフランスの

メーカーだ。